

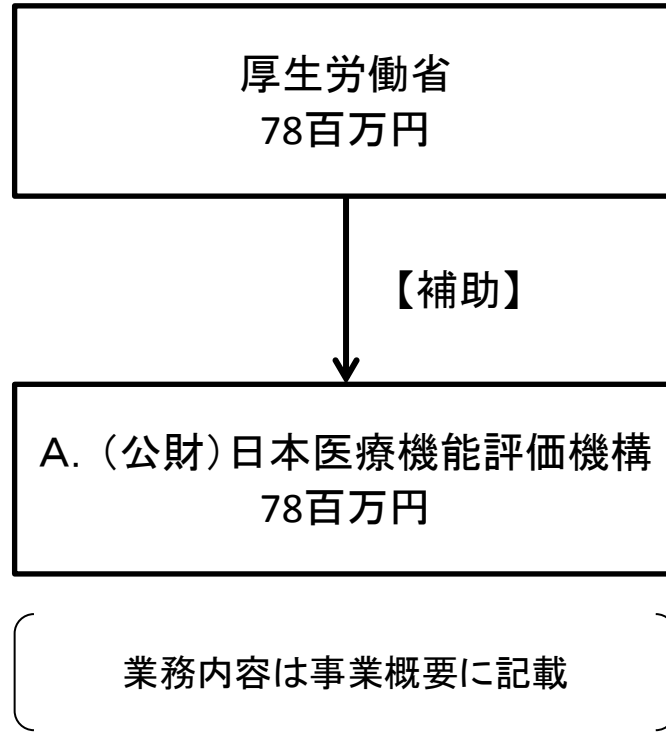
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	産科医療補償制度運営費		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～		担当課室	総務課 医療安全推進室		室長:大坪寛子		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-3-2 医療安全確保対策の推進を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	厚生労働省発医政0331第31号「医療施設運営費等補助金及び中毒情報基盤整備事業費補助金の国庫補助について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	分娩にかかる医療事故により脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を速やかに補償するとともに、事故原因の分析を行い、将来の同種事故の防止に資する情報を提供することなどにより、紛争の防止・早期解決及び産科医療の質の向上を図るといふ産科医療補償制度の運営に対して一定の支援を行い、産科医不足対策や産科医療の質の向上に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本制度の普及啓発に関する取り組み、脳性麻痺の原因分析や再発防止に関する取り組みにかかる経費について定額補助を行う。産科医療補償制度の補償対象となった事例は、運営組織にて医学的観点から原因分析が行われ、その結果は妊産婦と分娩機関にフィードバックされる。原因分析された個々の事例は、体系的に整理・蓄積され再発防止策としてまとめられる。これを広く社会に公開することにより、将来の脳性麻痺の発症の防止等産科医療の質の向上を図る。原因分析は、原因分析委員会とその下部組織である分析部会によって行われる。平成21年度下半期からは原因分析事例の蓄積に伴って再発防止委員会を設けている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	87	80	78	75	73	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	87	80	78	75	73		
	執行額	87	80	78				
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	原因分析報告書の作成			件	28件	73件	120件	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	審査件数			件	130件	154件	211件	-
					(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	369(千円/件)		算出根拠	77,887千円÷211件				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	医療施設運営費等補助金	75	73	謝金・旅費の減				
	計	75	73					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	分娩時の事故の原因分析は、紛争防止の観点も含め、ニーズが高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医療安全を推進するため、国として実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	産科医療事故の発生予防、再発防止を図り、医療安全を推進する事業であり、優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者である分娩機関や妊産婦に原因分析、再発防止に係る費用を負担させることは難しい。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	23年度の521千円/件から、24年度に355千円/件へ減少している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に照らして真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	補助事業での実施が最も有効である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	原因分析報告書は児の家族や分娩機関、関係学会等に周知されており、産科医療の質向上に寄与している。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検結果	事業としては十分認知されており、今後は、受付件数の増に見合った審査体制の整備が必要である。単位あたりのコストについて、審査件数は増加しているが、所用の予算内にて効率的に事業を運営していることから、削減されている。					
	外部有識者の所見					
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	産科医療補償制度運営費については、コスト削減による見直しの観点から、人件費のコストを削減すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	産科医療補償制度運営費については、予算の効率的な執行を図るように努め、平成26年度概算要求において縮減を図った(△2百万円)。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	111	平成23年	0092	平成24年	070

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(公財)日本医療機能評価機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	委員会出席謝金	64			
旅費	委員等旅費	11			
印刷製本費	報告書、チラシ印刷費用	3			
計		78	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)日本医療機能評価機構	事業概要に同じ	78		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					